



今年度から学年の枠を超え、日ごろの交流や保育所で取り組んでいることをお知らせする「ひだまり」を発行していきます。太陽の光がよく当たり、温かく“ほっ”とする保育所をイメージして「ひだまり」と名付けました！「大きくなったらこんなことを経験するんだな」「ほかのクラスとこんな楽しいことをしたんだな」と思って見てもらえたら嬉しいです。

豊能町の就学前教育では、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を意識しながら日々の保育を進めています。保育所での生活を通していろいろなことに興味をもち、人と関わる楽しさを知り、社会に出て自分らしく生きていきたいという意欲をもつことが将来の学びにつながっていきます。子どもたちの活動には意味があり、これから先のどのような力につながっていくのかを子どもたちの様子と一緒に伝えたいと思っています。

今回は、ぱんだ組とくま組がミミズマンションの中のミミズを新しい土に移し替えている様子と、その後の飼育活動を10の姿を交えて紹介します。



- ① 健康な心と体 ~こころとからだのつながりを感じよう~  
一人ひとりの違い（心・身体の状態・心と体のつながり方）を大事にできる
- ② 自立心 ~自分の気持ちに気づき、考え、行動につなげよう~  
自分の気持ちに気づき、どうしてこんな気持ちになっているのかを考え、次の行動に向かってすすんでいく力をつける
- ③ 協同性 ~かかわりあおう~  
心地良い“つながり”を作るために、気持ちを感じ合うことの大切さに気付く
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え ~「安心」をつくろう~  
「誰もが安心できる場づくり」をめざし、「あたりまえ」は人によって違うことを知る
- ⑤ 社会生活と関わり ~自分とつながる人・モノ・「情報」を知ろう  
自分とつながっている人々や地域のことを知り、情報メディア（テレビ・ネットなど）について考え話をする
- ⑥ 思考力の芽生え ~ちがいを「みらいの種」の栄養にしよう~  
ありのままの思いを出し、違いから新しいことを見出す

- ⑦ 自然との関わり・生命尊重 ~生き物の「いのち」、季節の「におい」を感じよう~  
広い視野で自然とのかかわりやいのちの尊さを感じる
- ⑧ 量・図形、文字への関心・感覚~思いを伝えるツール（文字や数字・絵や音楽）にふれよう~  
文字は思いや考えを伝え、記号や数字、図形は、日常生活に必要な大切なツールであることがわかり活用しようとする
- ⑨ 言葉による伝え合い ~思いを聴こう・話そう~  
思いの伝え方も人それぞれであることが分かり、自分の思いを語る力をつける
- ⑩ 豊かな感性と表現 ~「もちあじ」を発揮しよう~  
かかわりの中で、安心してもちあじを発揮し、感性が豊かに育つ

※幼児期の終わりまでに育てほしい姿の“めやす”を示したものです。

吉川保育所ではシマミズを飼育しています。ミミズが「ゴミ」だと言われている果物等の皮を食べることで分解し、有機肥料の「みみずのちから」になります。まさにSDGSですよ。そしていつも気持ち悪いと言われているミミズが、大切な役割を果たしている事も大切なポイントです。見た目等で判断しない子ども達に育てほしいという思いを持っています。



ここにミミズいたで！と教え合っています(協同性)



マンションに入っていた古い土は、畑に入れます。「なんでこの土を畑に入れたら野菜が大きくなるのかな？」  
(思考力の芽生え)  
その後「みみずっておもしろい」の紙芝居で知りました。



「お家から(ミミズの餌の)皮を持ってきた！」(自立心)



大きくしてみると...  
ミミズの卵!

ミミズ可愛い♥卵見つけた!  
(自然との関わり・生命尊重)



「ぼくが水あげるからね」(自然との関わり・生命尊)